

このページは、小・中学生向け  
て梅光学院大学子ども学部子ども  
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が  
作っています。

※イラスト 渡邊志帆さん

# しものせき キッズページ



## 「多肉植物のはなし」



▲多肉植物はインテリアとしても楽しめます！ 日ごろから大切に育てれば、3年間ほどこの状態が保たれるそうです。

花や植物は色々な表情を見せ、私たちの心を癒やしてくれます。今回は、そんな花や植物を一年中楽しめる下関市園芸センターと、多肉植物について紹介します。

下関市園芸センターって？

園芸センターは、もともと下関市の農業試験場だった所で、広い敷地内には観賞用大温室、熱帯果樹温室、鉢物温室、洋ラン温室、サボテン温室、ベコニア温室、盆栽コーナー、昔の農機具資料館があります。そこではさまざまな園芸植物が展示栽培されており、い



つでも観賞することができます。四季折々に咲く花も見どころの一つです。桜、ツツジ、花シヨウブ、アジサイ、バラ、梅、フジ、椿などが咲き誇ります。園芸講習会や展示会なども行われ、電話による園芸相談も行われています。園芸センターに足を運べば、植物のことを知ることもでき、もっと好きになるかも！ 気軽に訪れてください！



「多肉植物」って知っていますか

多肉植物について、園芸センターの吉田玲子職員に取材しました。

多肉植物とは、葉・茎・根などの内部に水分をたくさん含んでいる植物の総称で、サボテンがそうです。どんな所でも育ちやすいのが特徴で、古い家の瓦の上で育てていることもあります。

花が咲く時期は種類によってまばらで、どの季節でも多肉植物を楽しむことができます。種類によっては冬に紅葉し、赤や黄色に色付くものもあります。そのため、今、インテリアとして世界中から注目されています。どんなところでも生きることができるので、ペット

●園芸センター  
住所 富田町五丁目7番1号  
時間 午前9時～午後4時  
電話 258-0147

ポトルや小さい器、子どもの靴などにも植えることができ、さまざまな楽しみ方ができます！ 吉田職員は、植物は、人の心になんわり入り込んできて、癒やしてくれます。たくさんの人に、日ごろから植物と触れ合ってもらいたいです」と話してくれました。

多肉植物の育て方・寄せ植え



4月号の編集記者(左から)  
原田陽さん、村田宏仁さん、  
渡邊志帆さん



▲園芸センターの吉田玲子職員。園芸センターの多肉植物を、愛情を込めて育てています。



▲多肉植物の寄せ植え教室など、講座もあつます。興味のある方はぜひ参加してみませんか。